

# 大津小便り

平成二十八年  
八月三十日(火)  
NO.九  
文責 吉良智恵美

## 秋の気配・涼しい朝・前に向かって

朝八時半には三十度を超える猛暑が一転。十一時になってもクーラー無しの日曜日を迎えました。秋が近づいているのでしょうか。

さて、前期後半が始まって一週間。子どもたちは全体的には元気で、落ち着いた生活でした。学校としては、個別の支援が必要な子どもさんを見取りながら、適切な支援体制を整え充実させていく段階であると考えています。幸いなことに、菊池教育事務所から、大津小には週に二日ほど、スクールカウンセラーを配置できるとの連絡を受けました。

曜日等は、今後検討していきますが、保護者の皆さんからの要望にも対応できると思えますので、担任あるいは養護教諭へ連絡してください。ちょっと見た中では、何ら問題を抱えているように見えなくても、以前とは違う違和感や不安定な感情を抱え続けている子どもさんもおられるようです。家庭において、そんな様子が見える場合も、遠慮せず申し出ていただければと思います。



## PTA美化作業・来週に延期

八月二十八日(日)に予定していた、PTAの美化作業は、台風十号の接近による雨を懸念し、九月四日(日)に延期させていただきます。早めの土曜日の態度決定であったため、結局は雨は降らずの空振りでした。学校に来られた方も何人かおられたと聞いています。すみませんでした。九月四日(日)は、雨天の場合も、作業内容を変更して実施する予定です。よろしくお願ひします。

「一つ上の自分」「一つ上の学校」。今年には「心を磨く」を大事にしています。今相手思いやる心は、トイレのスリッパ、あいさつや整理整頓にも現れます。

## 渡邊実里先生に、インタビュー



岐阜県海津市立平田中学校から、緊急派遣の養護教諭として本校に来てもらって二ヶ月余り。笑顔が素敵な先生に、インタビューしてみました。

来た時は、体育館を見て、地震の大きさを実感しました。子どもたちも「夜眠れない」「一人でいられない」など、心に傷があると思いました。

子どもたちが素直で温かく、南西小の子たちにも、いつも誰かが寄り添っていて、いいなあと感じました。互いの人権を大切に合っていると思います。

私と園木(中島)先生は似ているらしく、卒業生が、遠くから手を振ってくれたり、大津小の先生から間違われたりしました。園木先生と一緒に仕事をして、たくさん学ぶことが出来ました。

「～けん」というのが熊本弁の特徴ですね。車が「離合する」とか「あとぜき」は、初めて聞きました。谷口先生の熊本弁が分からないことがあって、通訳してもらいました。

自身も被災されているのに、子どもたちと笑顔で接している先生たちの使命感などに感動しました。今度、発育測定時間に、自分でリラクゼーションできる方法について保健指導します。これからの生活に役立ててもらいたいです。岐阜県に帰ったら、大津小での経験や頂いた資料を参考に防災対策を立てます。

## 「安心・安全な学校」・・・全員で・・・

この度、正門を入ったところから歩行者用に白線を引きました。朝の通勤時間帯は、職員の乗用車等が入ってきますので、より安全を確保するためです。校門前を始め横断歩道等では、毎朝、保護者や地域のボランティアの皆さんが、登校を見守ってくださっています。いつも、本当に有り難うございます。



最近、高学年以外の子も、外掃除のボランティアをしてくれます。うれしいです。



兵庫県朝霧小学校からのメッセージです。・児童玄関・



